

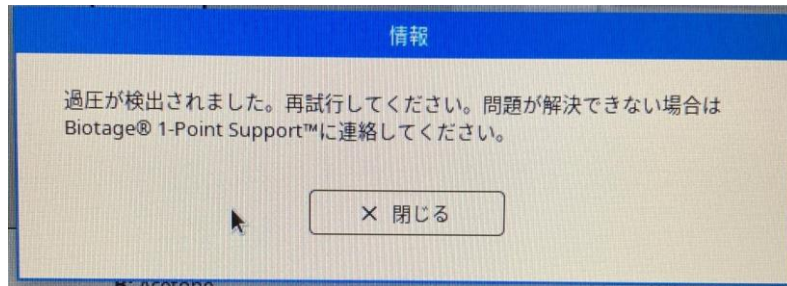
Biotage® Selekt メンテナンスガイド

～ プレッシャー エラーが発生したら ～



Selekt プレッシャー エラー

- システムは 30 barの内圧を検知した場合には安全のため停止します。
- 主だった要因は、チューブの折れ・シリカ流出による閉塞・結晶化したサンプルによる閉塞などが挙げられますが、いずれの場合も不具合箇所を修正するまで正常運転ができません。
- 本ガイドではその対処方法をご案内します。



※注意

- 作業時に予期せず溶媒が噴き出る可能性があります。セーフティグラス、グローブ等、保護具を着用し換気を良くして作業を行う等、安全に配慮した上で作業を実施してください。
- UVセルの取り外し時は装置の電源を切る必要はありませんが、光源を直接目視しないようにして下さい。目を傷める恐れがあります。

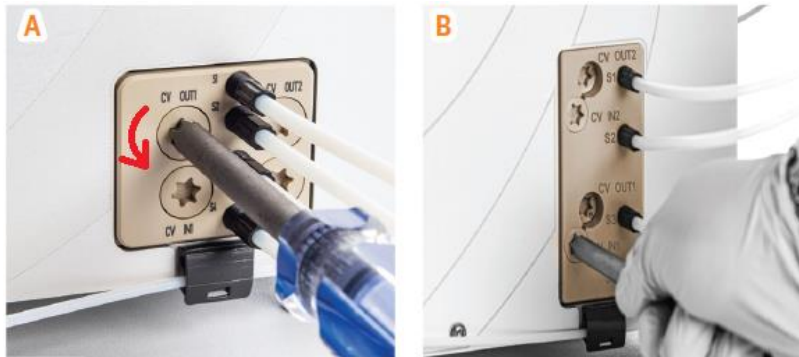


確認作業事項

- ① チェックバルブから残圧の開放
画面左上部の圧力表示値が1bar以上の場合に実施します。
- ② チューブの折れ曲がり確認および補正
配管チューブの流路をたどり確認補正します。
- ③ インラインフィルター（オプション）の清掃
シリカ捕集用フィルターを採用の場合に実施します。
- ④ UVセルまでのライン洗浄
セルに入る前で結晶化などが発生した場合に有効です。
- ⑤ UVセル洗浄
セル内部の詰まりがある場合に有効です。
- ⑥ 装置全体流路の確認
プライムを実施し圧力状態を確認します。

① チェックバルブから残圧の開放

- 備品のTorx 50ドライバーを準備します。
- 装置右側面にあるチェックバルブを緩め圧を開放します。
- 中にあるチェックバルブの状態を確認します。
- 詳しい内容は別添の動画をご覧ください。



※) 注意

チェックバルブを緩めたときに少量の溶媒が噴き出る可能性があります。必ず保護具を使用し覗き込まないよう作業してください。

② チューブの折れ曲がり確認および補正

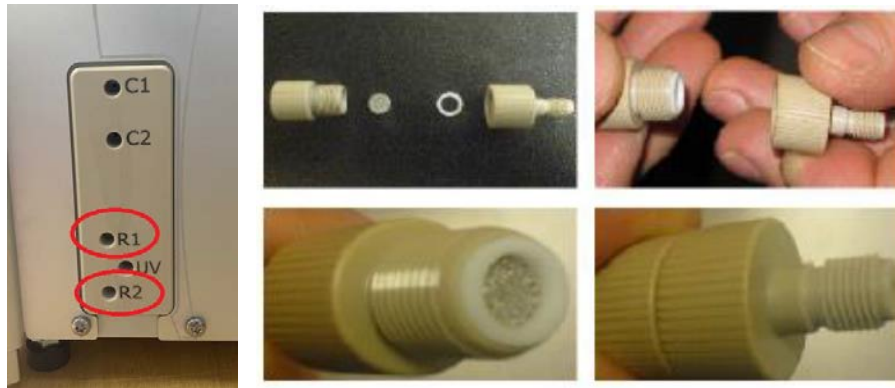
- カラム → フローパスモジュール（青）
- フローパスモジュール → UVセル（赤）
- UVセル → コレクトバルブ（緑）
- コレクトバルブ → 廃液ライン（橙）



※) 注意
 廃液ライン後方、廃液ボトル内での折れ曲がりも確認下さい。

③ インラインフィルター（オプション）の清掃

- 装置右側面の R1 または R2 を確認
- アッセンブリーから内部の焼結フィルターを取り出す
- 適切な溶媒でフィルターを超音波洗浄



※) 注意
 インライン フィルターを緩めた
 ときに少量の溶媒が噴き出る可
 能性があります。必ず保護具を使用
 し作業してください。

④ UVセルまでのライン洗浄

- UVセル下側のチューブを外す
- チューブ先端を容量 300 mL 以上のビーカー等に受け固定する
- 操作画面で「フラッシュ/パージ」からプライムを実施
- 下記条件A、Bでライン洗浄実施

条件A

Path: Channel 1
 Column Type: No Column
 Volume: 100ml
 Flow Rate: 300ml/min
 Methanol 100%

条件B

Path: Channel 2
 Column Type: No Column
 Volume: 100ml
 Flow Rate: 300ml/min
 Methanol 100%

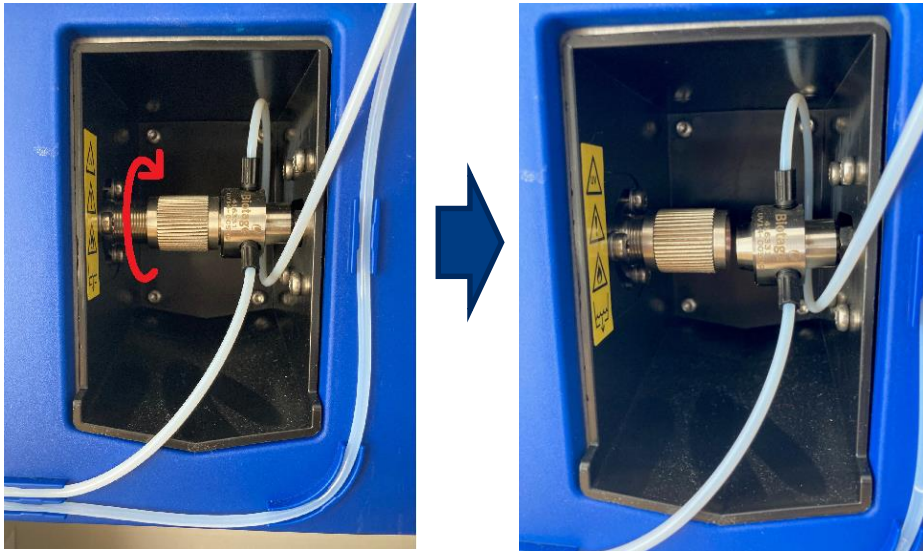
※) 注意

- 圧力が 5 bar を超える、もしくはエラーが出る場合は修理が必要となります。
- チューブ再接続の際にはネジ山を傷めないよう気を付けてください。



⑤ UVセル洗浄：取り外し

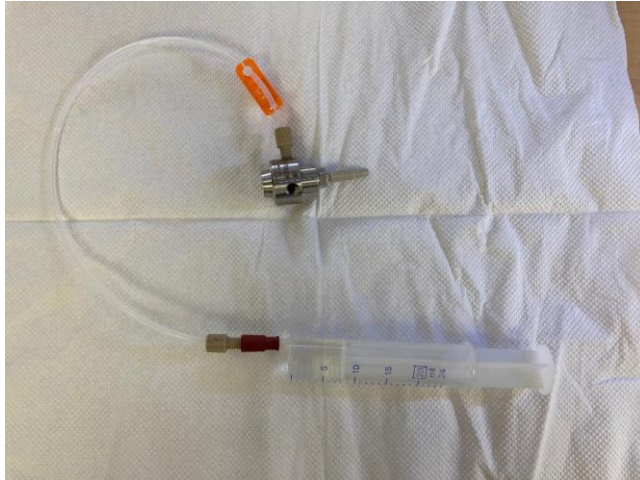
- ギザギザの部分をお奥側へ回し緩める
- UVセルを左側に動かし引き抜く
- チューブを緩めてセルから完全に外す



※) 注意
矢印の部分に触れないでください。

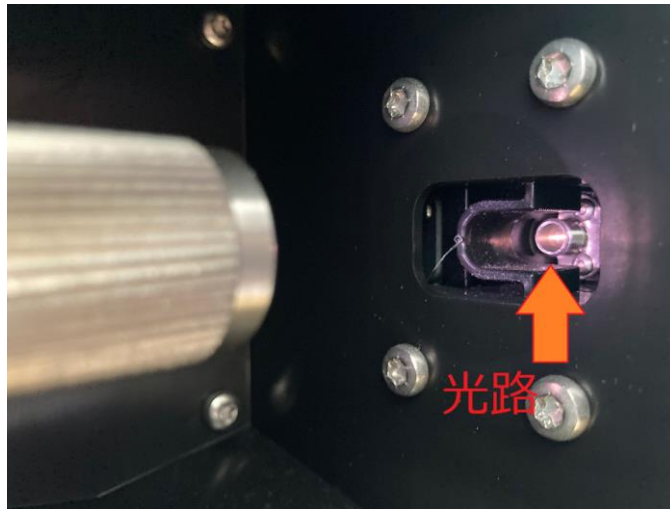
⑤ UVセル洗浄：確認と洗浄

- 付属の「P/N : 411888 インジェクションメンテナンスキット」を準備
- UVセルの流路出口側にチューブを接続
- 適切な溶媒を用いて内部の洗浄を実施



⑤ UVセル洗浄：セルの取付け

- 細い先端を光路側に差し込む
- チューブを元通りに接続する
- 取り外し時に緩めたネジを締め込む



※) 注意
チューブ再接続の際にはネジ山を傷めないよう気を付けてください。

⑥装置全体流路の確認

- 「フラッシュ/パージ」より下記のフローチャートに従ってプライム実施

